



# 2012 全日本ヨットマッチレース選手権大会 ・イン・葉山

## 2012 All Japan Yacht Match-Race Championship in Hayama

ISAF Event Grading 3

22-24 Nov., 2012

Sailing Instructions (ver. 1.0)

**略語**

PC- プロテスト委員会 RC- レース委員会 OA-主催団体 NA-ナショナル・オーソリティ(JSAF) RRS-セーリング競技規則  
SI-帆走指示書 IJ-インターナショナル・ジュリー NoR :レース公示

**1 ルール**

1.1 本大会は以下のルールに従って行われる。

- (a) RRS に規定されたルール。付則 C を含む。
- (b) ハンドリング ポーツ(SI 付則 C)の規則は練習、およびスポンサーレースにも適用される。
- (c) ナショナル・オーソリティ規定が適用されるときは公式掲示板に掲示される。

1.2 削除

1.3 削除

1.4 RRS 4.1 に以下を追加する。

{e)水中からクルーメンバーを助け上げ艇上に戻すための援助。但し艇に戻すのは水中から助け上げた場所の近くの場合に限る。}

1.5 RRS C8.6 を削除し、以下のものと置き換える。

「マッチのアンパイアが、少なくとももう一人の別のアンパイアとともに、艇がルール 14 に違反し、損傷が起こったと判定した場合、彼らは審問なしに SI 付則 E に示されたポイント・ペナルティーを課することができる。競技者には実行できるようになれはすぐにペナルティーを知らせなければならない。知らされた時に競技者は審問を要求することができる。その場合 PC は規則 C6.6 に基づく手続きを進めなければならない。PC によって判定されるペナルティーは、アンパイアによって課されたペナルティーを越えることがある。アンパイアは、SI 付則 E に示されたものよりも重いペナルティーを課することを決定するとき、規則 C8.4 に基づき処置しなければならない。」

1.6 リタイア

スキッパーが RC にリタイアを通告し、スタート海面に来ないかレース海面を離れたことが明らかな場合、RC はアンパイアと協議の上、そのスキッパーの得点を0点、対戦相手の得点を1点として、ペーリング・リストを変更することができる。本項は RRS C8.5 を変更している。

1.5 RRS C3.1 のスタート信号の表を以下に変更する。

時刻(分)	視覚信号	音響信号	意味
7	7 旗掲揚	1 声	注意信号
6	7 旗降下	なし	
5	5 旗掲揚、数字旗掲揚*	1 声	予告信号
4	5 旗降下、4 旗掲揚	1 声	準備信号
2	青色旗もしくは黄色旗または両方の旗の掲揚**	1 声	スタート前のエントリータイムの終了
1	4 旗降下、1 旗掲揚	1 声	
0	数字旗と 1 旗降下	1 声	スタート信号

注意 1 : \*、\*\*印の注記は RRS の通りである。

注意 2 : 7 旗、5 旗、4 旗、1 旗とは、国際信号旗の数字旗ではなく、該当するアラビア数字の記載された旗である。

**2 参加と参加資格**

2.1 OA によって招待されたスキッパーのみが本大会に参加できる。招待基準は NoR 5(a)に示されている。参加スキッパーは SI 付則 A に示される。



2.2 OA が延期を認めた場合を除き、参加資格を維持するために、クルーは参加登録を行い、参加料と30,000 円のダメージ・デポジットを支払い、NoR に指定されたときまでに全員が体重測定を受けなければならない。

2.3 ダメージ・デポジットは、個々の事故に対する各スキッパーの責任限度額ではない。大会期間中にダメージ・デポジットから差し引きが行われた場合、スキッパーは、参加資格を維持するためにダメージ・デポジットの額を元の金額に戻すことを求められることがある。

2.4 各スキッパーは乗艇したボートのダメージや損失について責任がある。ただし、アンパイアまたは PC によって別に責任分担が割り当てられた場合はそれに従う (18 項参照)

2.5 マッチの予告信号後、登録されたスキッパーは、緊急の場合を除き、舵を離してはならない。

2.6 登録されたスキッパーが大会を継続できなくなった場合、OA はオリジナル・クルーメンバーを代理として認可することができる。

2.7 登録されたクルーメンバーが大会を継続することができなくなった場合、OA は交代クルー、一時的な交代、またはその他の調整を認可することができる。

### 3 競技者との連絡

3.1 競技者への通告は、レース本部付近に設置された公式掲示板に掲示される。

3.2 陸上で発する信号は、音響信号 3 声とともにレース本部付近に掲示される。

3.3 スキッパーは、OA によって許された場合を除き、11 月 23 日 09:00 から行われる最初のブリーフィングに参加しなければならない。ブリーフィング会場は受付時に通知される。

3.4 アンパイアとの最初のミーティングは、最初のブリーフィングに引き続いて行われる。

3.5 レース日二日目のミーティングは、11 月 23 日 17:00 から行われるアンパイア・ブリーフィングに引き続いて行われる。ミーティング会場は受付時に通知される。

3.6 スキッパーは彼らのレースがあった日に、記者会見に出席することを求められることがある。

### 4 帆走指示書の変更

4.1 陸上で行われる SI の変更は、影響を及ぼすレースの最低 60 分前に掲示され、RC と PC の代表者により署名される。

#### 4.2 削除

4.3 海上で変更が行われたときは、音響信号 3 声とともに第 3 代表旗を掲揚することによって信号が発せられる。アンパイアは、口頭か書面のいずれかでこのことを伝達することができる。

### 5 ボートとセイル

#### 5.1

- (a) 本大会は、ヤマハ 30S クラスのボートで帆走される。
- (b) 使用すべきセイルは RC により割り当てられる。
- (c) 競技者は、シリーズ中に、スポンサーの要請を満足するためにセイルを交換することを要請されることがある。このことは救済の要求の対象とはならない。これは RRS62 の変更である。

5.2 用いなければならないセイルの組み合わせは、注意信号以前に、RC ボートのパウから信号が発せられる。信号は次のことを意味するものとする (連続音響信号を伴う)。

信号	用いなければならないセイルの組み合わせ
オレンジ旗	そのフライトのすべての艇はスピネーカーおよびスピンプールを使用してはならない。
黒色旗	そのフライトのすべて艇は、メインセイルをワンポイントリーフしなければならない。
信号なし	自由



5.3	その他の制限または指示は、艇に対してアンパイアから口頭でなされることがある。第3代表旗は必要としない。
5.4	RCは各ステージで使用する艇を決めることができる。使用しない艇が決められたときは、スキッパーには他の艇が一時的に割り当てられる。
5.5	削除
6	<b>艇の識別と割り当て</b>
6.1	艇は、各艇に記載されたボートナンバーにより識別される。
6.2	メインセイルには、OAにより提供された文字を表示することを求められることがある。
6.3	RCの決定に従って、艇は毎日の朝のミーティング時および各ステージの開始前に、抽選によって割り当てられる。
6.4	艇はペアリング・リストとレース・スケジュールに従って交換される。
7	<b>クルー・メンバー、人数と体重</b>
7.1	(a) 1チームに登録できる乗員は最大6名である。 (b) 7.2項で規定された制限体重以内であればクルーは交替することができる。ただし、全乗員数は第1レースに乗艇した人数より多くても少なくとも1人ではない。また、クルーの交替は事前にRCの了解を得なければならず、交替に要する時間はスタート延期要請の対象とはならない(RRS60.1の変更)。
7.2	少なくともショーツ(パンツ)とシャツを着用した状態でのスキッパーを含む乗員の合計体重は350kgを越えてはならない。この計量はRCによって指定された登録・体重計測時に行う。計測は機器の誤差を考慮して、各自の表示体重より0.2kgを差し引いた数値を公式体重とする。
7.3	削除
8	<b>イベント・フォーマットとスタートのスケジュール</b>
8.1	イベントフォーマットはSIのアペンディックスBに記される。フライトで帆走するマッチは、RCボートよりスタートする順に示される。
8.2	削除
8.3	レース日は11月23日から11月24日まで予定されている。
8.4	レース最終日で、「注意信号」が発令されるもっとも遅い時刻は15時とする。
8.5	それぞれの日にレースをするマッチの数は、RCの決定による。
8.6	(a) RCは、現在の状況または予定されている残りの時間ではマッチの残りを続けようとするのが実行不可能であると判断した場合、ステージまたは大会を終了、またはフォーマットを変更することができる。初期のステージは、その後のステージを行うために終了することがある。 (b) RRS C10.3(b)に以下を追加する。「1回のラウンドロビンが完了する前に終了した場合、最高得点はそれぞれの競技者が帆走したマッチの平均得点によって決定されるものとする。ただし、1名またはそれ以上の競技者が予定されたマッチの1/3未満しか完了しない場合を除く。その場合、全体のラウンドロビンが無視されなければならず、必要な場合には大会が無効と宣言される。」
8.7	最初の注意信号発令予定時刻は、初日は10:10、二日目は09:00である。
8.8	引き続き行われるそれぞれのフライトは、実行可能な限り速やかに前のフライトに引き続いて開始される。これは、前のフライトの最終マッチがフィニッシュすることを必ずしも要しない。
8.9	あるマッチが予定された時刻にスタートできない場合、次のマッチの信号とスタートは元の予定のままとし、スタートしないペアは空白のスタートのままとする。スタートシークエンスの旗は、空白のスタートに対しては掲揚されない。
8.10	ノックアウトシリーズで、あるシリーズの勝者が決定された場合、引き続き行われるスタートは、空白のスタートをなくすために前

に持ってくるものとする。競技者には、アンパイアより口頭でそのことを伝える。

## 9 レース海面

レース海面は葉山マリーナの沖合いである。

## 10 コース

### 10.1 (a) コースの形状 (縮尺どおりではない)

マークW

マークL

スタート/フィニッシュライン

### (b) コース信号と帆走すべきコース

コース信号は予告信号と同時にまたはその前に RC ボートのパウに掲揚される。マークW とL は、スターボード(右)回航しなければならない。

信号 コース

信号なし スタート- W - L - W - フィニッシュ

S 旗 スタート- W - フィニッシュ

### (c) マークの説明

RC ボートはメインマストに JYMA の旗を掲げたボートである。

スタートフィニッシング・マーク、マークW/L、そして置き換えマークの形状と色は最初の艇長会議時に説明される。

### 10.2 スタートフィニッシング・ライン

(a) スタートフィニッシング・ラインは、スタートフィニッシュ・マーク(ピンエンド・マーク)のコースサイドと、RC ボート上メインマストのコースサイドとの間の直線である。

(b) RC ボートには、ラインでつないだブイを取り付けることがある。レース艇は、常にこのブイと RC ボートとの間を通過してはならない。このブイは、RC ボートのグランド・テークルの一部である。

### 10.3 コースの制限

ローイング中であるとアンカリング中であるにかかわらず、レースエリア内にいるローボート(シーカヤックを除く)から半径 10m の範囲内は障害物とみなす。レース中、艇はこの範囲内を帆走してはならない。アペンディックス F 参照。

この項の指示にたいする違反は、艇による抗議の対象とはならず、RRS 8.2 によるアンパイアの処置の対象である。これは RRS C6.6 および C8.2 を変更している。

### 10.4 中止と短縮

(a) RRS32 を削除して、以下の文と置き換える。RC は、スタート信号後、何らかの理由のために、実施できる場合はそのマッチのアンパイアと協議後、マッチの中止またはコースの短縮をすることができる。」

(b) スタート信号後、レースの中止が決定された場合、RC ボートから音響信号 3 声とともに N 旗を掲揚する。数字旗とともに N 旗が掲揚された場合、その数字旗で示されたマッチのみが中止されるものとする。(レース信号の変更)

(c) スタート信号後、コースを短縮するときは、最初の上マーク付近にいるマークボートから音響信号 2 声とともに S 旗を掲揚する。この場合、各艇は SI 10.1(b) で S 旗が掲揚された場合と同じコースを帆走しなければならない。数字旗の上に S 旗が掲揚された場合、その数字旗で示されたマッチ以降、同じフライトのすべてのマッチにこの項が適用されるものとする。(レース信号の変更)

## 11 損傷と修理のための時間

11.1 フライトの注意信号の前、またはフィニッシュ後の 2 分以内、または新しい艇に乗り替わった後の 5 分以内のいずれか遅い方までに、艇は、艇体やセイルの破損または損傷あるいは乗員の負傷を知らせるピンク旗を掲げ、次のスタートを遅らせるように求める



<p>ことができる。その艇は、できるだけ早くRC ポートの風下に近づけて進み、そこにとどまらなければならない。ただし、別の指示がある場合を除く</p>
<p>11.2 修理に許される時間は、RC の裁量とする。</p>
<p>11.3 フライトの注意信号発令後は、破損のためにマッチを延期または中止しない。ただし、SI 11.1 に定められているとおりに破損信号が掲げられた場合を除く</p>
<p>11.4 RRS 62.1(b)が適用されている場合を除き、修理ができないことまたは注意信号後の破損は、救済の理由とはならない。この項は RRS 62 を変更している。</p>
<p><b>12 スタートの手順</b></p>
<p>12.1 削除</p>
<p>12.2 削除</p>
<p>12.3 注意信号は各フライトの最初のスタート信号の7分前に掲示される。これは RRS C3.1 を変更している。SI 1.5 参照。</p>
<p><b>13 風上マークの位置の変更</b></p>
<p>13.1 コースの変更は、置き換えマークWを設置することにより行う</p>
<p>13.2 引き続き行う変更は、元のマークへ戻す。</p>
<p>13.3 <b>コース変更の信号</b> (RRS33 とレース信号の変更)</p> <p>(a) C 旗と色付きの旗は以下のことを意味する。「風上マークは置き換えられた。色付きの旗と同じ色の帯を巻いたマークを帆走すること。」</p> <p>(b) スタート後のコース変更を特定のマッチにのみ適用する場合、当該数字旗により指示するものとする。</p>
<p><b>13.4 信号船</b></p> <p>(a) 最初のレグでコースの変更を行う場合、信号は適用されるそれぞれのマッチの準備信号とともに RC ポート上で掲揚される。準備信号は、一連の反復音響信号を伴うものとする。この信号はスタート信号とともに降下する。</p> <p>(b) 最初のレグの後にコース変更の信号を発する場合、マークL 付近にいるボートあるいは RC ポートから掲揚するものとする。この信号はマッチの両艇がマークL を回航後適当な時期に降下される。</p>
<p><b>14 タイム・リミット</b></p> <p>相手艇がコースを完了しフィニッシュした後、5分以内にフィニッシュしない艇は DNF と記録される。この項は RRS 35 および A5 を変更している。</p>
<p><b>15 コーチボート</b></p>
<p>15 コーチボート</p> <p>どのチームもコーチボートを使用してはならない。</p>
<p><b>16 メディア、映像および音響</b></p> <p>(a) OA はいつでも、メディアの人員と機材 (またはダミー) を積み込むことを求めることができ、また競技者にインタビューに答えることを求めることができる。</p> <p>(b) レースをしない人員と機材の位置は RC によって決定され、口頭によってアドバイスされることがある。</p> <p>(c) OA は、大会期間中に採集された映像 (肖像) と音響を無料で使用する権利を有するものとする。</p> <p>(d) クルーメンバー (スキッパーを含む) は、オーディオ・マイクロフォンを身に着けることを求められることがある。</p>
<p><b>17 賞</b></p> <p>(a) 1位から3位までのチームには JYMA 賞と JSAF 賞状が贈られる。</p> <p>(b) 上位4名のスキッパーは、2013年春に予定されている「くるるアジア・パシフィックマッチ」に招待される。</p> <p>OA は、競技者の不品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。</p>
<p><b>18 行動基準とダメージの取り扱い基準</b></p>



### 18.1 行動基準

- (a) 競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力、および RC への手伝いを含む、競技役員からのリーズナブルな要求に従わなければならない。また大会の名譽を傷つけるような行動をしてはならない。
- (b) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SI アペディックス C と D に従わねばならない。
- (c) 本大会のすべて参加者は環境保護の精神に則り、法令、規則を順守しなければならない。海上へのゴミの投棄は禁止される。また陸上でのゴミの分別、持ち帰りに協力しなければならない。
- (d) この SI に対する違反のペナルティーは、PC の裁量であり、それには大会へのこれ以上の参加からの排除、賞金の回収、デポジットの保留を含めることができる。

### 18.2 ダメージの取り扱い基準

18.2.1 以下のアイテムの紛失は理由のいかんに関わらず当該艇の責任とし、その損失はダメージ デポジットより差し引かれる。

- (a) ウィンチハンドル :10,500 円/1 本
- (b) 抗議旗 (Y 旗) 5,000 円/1 本
- (c) その他の旗 (識別旗、B 旗、損傷旗) :各 3,000 円/1 枚

18.2.2 今回使用されるレース艇が加入している艇体保険の免責額は 300,000 円である (マスト、リギンを含まない)。30 万円以下のダメージ補修費用は、当事者負担とすることがある。

18.2.3 帆走指示書アペディックス C (ハンドリング・オブ・ボーツ) に違反した結果生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。当事者の負担である。

18.2.4 他艇との接触によって生じた、艇体、セイル、艀装その他備品のダメージは、その保険免責額内の修理費用を当事者間で負担するものとする (ダメージ デポジットから差し引かれる)。その金額は 1 事故につき 10 万円を超えることはない。その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとするが、当事者から要請があった場合 OA は PC のアドバイスを受けて、以下の割合によって分担することを勧告する。

- (a) 権利艇 非権利艇が特定できる場合  
権利艇 2 : 非権利艇 8
- (b) 権利艇 非権利艇が特定できない場合  
当事者間で均等割合とする

18.2.5 前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後 30 分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージレポートをレース委員会に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。

18.2.6 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、レース委員会はダメージの修理が完了するまでの間、そのスキッパーの成績を不戦敗とする場合がある。

### 19 ライフ・ジャケット

OA は、海上ではライフ・ジャケットの着用を強く推奨するが、着用の指示がない限り、着用するかしないかの最終判断は各艇によるものである。

### 20 否認

大会に参加するすべての者は、自己のリスクで参加している。OA、その提携者および任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する責任を否認する。

発行日 2012 年 11 月 12 日  
帆走指示書 Version 1.0



## SI アベンディックス A 参加資格のあるスキッパー

	Name of skipper スキッパー氏名	Name of Team チーム名称	JYMA Ranking 1 Oct., 2012	ISAF Ranking
1	長堀 祐樹 Yuki Nagahori		3	
2	坂本 亘 Wataru Sakamoto		4	
3	村越 俊介 Shunsuke Murakoshi		6	
4	宮川 英之 Hideyuki Miyagawa		10	
5	白山 陽一 Yoichi Shiroyama		19	
6				
7				
8				
9				
10				

## SI アベンディックス B イベント・フォーマット & 大会スケジュール

### イベント・フォーマット/ Event Format

ラウンドロビンによる予選ステージとノックアウトによる決勝ステージが予定されている。  
詳細は最初の艇長会議時に発表されるペアリング・リストによる。

### 大会スケジュール

#### 4 予定プログラム

##### 4.1 毎日の予定

11月22日(木) 練習および準備日

09:00 - 11:45 練習時間

練習希望チームは事前に実行委員長宛に連絡すること。また、練習艇のチャーター予約は各自 NST に行い、チャーター費用他を負担しなければならない。天候によっては実行委員会が中止勧告をすることができる。

12:00 準備要員集合 (準備要員に関しては 16.2 項を参照)

集合場所 葉山マリーナ・キャプテンズルーム前テラス

実行委員の指示のもと、レース艇その他のレース準備および希望者の体重測定を行う(体重測定の時間は実行委員の指示によるものとする)。

16:30 解散

11月23日(金 祝) レース日 1

08:00 レース本部オープン

08:00-09:00 受付 & 体重測定

09:00-09:30 最初の艇長会議とアンパイア・ブリーフィング

09:40 レース艇ドックアウト

10:10 最初の注意信号発令

17:00-17:45 アンパイア・ブリーフィングと翌日の艇長会議

18:00-20:00 レセプション(会場 葉山マリーナ/HMYC 共同開催 会費 3,000 円/1 人、ゲスト歓迎)

11月24日(土) レース日最終日

08:00 レース本部オープン

08:20 レース艇ドックアウト

09:00 最初のマッチの注意信号発令

15:30-16:00 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング

16:00-16:30 表彰式

17:00 レース本部クローズ



## SI アペンディックス C ハンドリング・ボーツ (艇の取り扱い)

<b>1 全般</b>
艇をイコライズ (対等にする) するための適切な過程が踏まれている限り、艇のヴァリエーション (違い) は救済の理由とはならない。この項は RRS 62 を変更している。
<b>2 禁止されるアイテム (品目) と行為</b>
2.1 緊急時または損傷や負傷を予防するため、あるいはアンパイアが指示した場合を除き、以下の項目は禁止される。
2.1.1 提供された装備に何かを付け加えたり、省略したり、あるいは変更を施すこと。
2.1.2 当初意図された目的、または特に認められた目的以外に装備を使用すること。
2.1.3 RC の許可を得ずに装備を交換すること。
2.1.4 損傷を引き起こす恐れがあることが明らかであるようなセイリング方法をとること。
2.1.5 それ自体を使用している場合を除き、通常の保管位置から装備を移動すること。
2.1.6 前もって許可を受けずに艇に乗り込むこと。
2.1.7 必要とされるダメージ デポジットなしで、あるいは RC の許可なしで、またレース日においては「A」旗が陸上で掲揚されている間に、停係泊場所から艇を受け取ること。
2.1.8 艇を上架したり、喫水線以下を清掃すること。
2.1.9 削除
2.1.10 スピネーカーの帆布にラインを取り付けること。
2.1.11 たとえテルテールを取り付けるためであっても、セイルに穴を開けること。
2.1.12 無線交信機 (携帯電話を含む) を使用すること。ただし、損傷の報告、RC の要請に対して返信する場合を除く。
2.1.13 バックステイ以外のスタンディング・リギンのテンションを調整すること。
2.1.14 メインシート、バックステイ、またはヴァングの調整にウインチを用いること。
2.1.15 削除
2.1.16 リーフラインをアウトホールとして使用すること。
2.1.17 フォア・セイルのシートを交差してウインチングすること。
2.1.18 ウインチにシートを取る前に、ヘッドセイル・カーやターニング・ブロックを通す事を省くこと。
2.1.19 コンパス、タイマー、時計以外の電子機器を使用すること。
2.1.20 削除
2.1.21 ハル及びデッキにパーマネント インクで直接マーキングすること。
2.1.22 スタート信号後、クローズホールドで数秒以上帆走しているとき、メインブームの位置をメイン・トラベラー、メイン・トラベラー・ブロックから出ているメインシート、そしてヴァング以外の手段でコントロールすること。
2.1.23 タッキング、ジャイピングまたはパウダウン時の艇の動きを促進させるために、シュラウド (すべてのインナー・シュラウドも含む) のロワー・ボルト・スクリュー (タンバックル) より上部をつかむこと。



2.1.24	メインシートのテークル数を変更してセットすること。
2.1.25	ジブ・シートを1本しか使わず、エンドレスでシーティングすること。
2.2	SI C2.1.22 または 2.1.23 の違反は、艇による抗議の対象とはならない。RRS C8.2 に従ってアンパイアによる処置に属する。(この項は RRS C6.2 とC8.2 を変更している。)
<b>2</b>	<b>容認されるアイテム (品目) と行為</b> 以下の項目は許される。
3.1	以下の装備を積み込むこと。 (a) 基本的な手動工具 (b) 粘着テープ (c) ライン (直径 4mm 以下の弾性のあるものまたはそれ以外のもの) (d) マーキング・ペン (e) テルテール用の素材 (f) 時計、タイマー、ハンドヘルド・コンパス (g) シャックル、クレビス・ピン、リング・ピン (h) ベルクロー・テープ (i) ボースンチェア (j) セイル・リペア キット (k) 予備の 8 インチ・ウインチハンドル (最大 2 本まで) (l) 予備の信号旗 (m) 船底に引っかかった藻やごみを取るための道具。この道具は 4m 以内のロッド、あるいはそのロッドに 4m 以内のロープを組み合わせたものに限る。この道具はその目的以外に使用してはならない。
3.1	以下のために 3.1 の装備を用いること。 (a) ライン、セイル、シートの汚れの予防。 (b) テルテールの取り付け。 (c) セイルの損傷または艇外への落下の防止。 (d) セッティングをコントロールするためのマーキング。 (e) 小補修の実施。
3.2	スピネーカー・シートキャッチャーの固定。ただし、艇長より 100mm 以上伸ばさないこと。また、除去後の修理を必要としないこと。
3.4	削除
<b>4</b>	<b>義務であるアイテム (品目) と行為</b> 以下の項目は義務である。
4.1	たとえダメージがなく、すでにロスが記録されている場合でも、毎レース日、艇を離れる前に書面によるコンディション・レポートを RC に提出しなければならない。レポートにはダメージの原因であったらるう点や今後のマッチに及ぼすだるう影響も含めなければならない。他艇との接触によるダメージがあった場合は、コンディション・レポートの他に、SI 18.2 項の要請によるダメージ・レポートを提出しなければならない。
4.2	各レース日の終わりに、 (a) ダメージがなければ、セイルをバッグに入れキャビン内に収納すること。 (b) その日最初に艇に乗り込んだときと同様にきれいに清掃して艇を離れること。 (c) バックステイのテンションを緩めること。 (d) バッテリー・スイッチを OFF にすること。 (e) チェック・リスト (アペンディックス D) に従って備品をチェックすること。
4.3	レース最終日には指定された艇を清掃し (デッキ、キャビン、ハルともに) 全てのゴミ、テープ、マークを除去すること。その他、艇の後片付けについて RC の指示に従うこと。



4.3	いかなるやり方でも艇の装備の変更要求は書面で行い、文面は YES/NO で簡潔に回答できる文章でなければならない。
4.5	停泊 係留場所とレース海面の往復時には、速度制限や航海標識を含む法令に従うこと。
4.6	レース中、エンジン・ギア・レバーは後進の位置に入れておくこと。また、バッテリースイッチは OFF にしておくこと。
4.7	レース中、メインセイルのリーフロープはプリセットしておくこと。
4.7	本項の 4.2 と 4.3 の違反は損傷とみなされ、調整の費用はダメージ・デポジットから差し引かれる。

### SI アベンディックス D レース艇のチェックリスト

レース・ボートのチェック・リストは最初の艇長会議時に配布される。

### SI アベンディックス E マッチレースにおける艇間の接触の結果生じた損傷に対するペナルティー

付則C6.6およびC8.6は、艇が規則14に違反した場合にアンパイアまたはプロテスト委員会がペナルティーを決めることを認めている。この文書は、損傷をどのように査定するかを説明し、妥当なペナルティーに関する一般的な指針を提供する。プロテスト委員会が相当な理由を認めた場合には、別のペナルティーを適用することがある。

損傷は3つのレベルに分類される。

レベル	程度	効果
レベルA マイナー・ダメージ	艇の価値や、全体的な外観、正常な運航に顕著な影響が無い。	大会後、軽度の表面上の作業を必要とするかもしれないが、艇は修理なしでレースをすることができる。修理は通常1時間以内の作業で済む。
レベルB ダメージ	艇の価値および / あるいは全体的な外観に影響がある。	損傷は、そのレースにおける艇の正常な運航に影響しないが、再びレースする前にある程度の(一時的な)作業を必要とする。1時間より多くの作業を要するが、通常は3時間以内である。
レベルC メイジャー・ダメージ	正常な運航に障害があり、構造的な完全性が損なわれたかもしれない。	艇が再度レースするために一定の修理を必要とする。3時間より多くの作業を要する。

ポイント・ペナルティー 審問なしで適用される。(これは付則C8.6を変更している)

レベル	ラウンドロビン	ノックアウト
A	なし	なし
B	半ポイント	4分の3ポイント
C	1ポイント	1ポイント

両艇が規則14に違反した場合には、両艇ともポイント・ペナルティーを課するのがよい。競技者がポイント・ペナルティーを課された後、ヒアリングを要求した場合、プロテスト委員会は(ヒアリングにおいて)より大きなペナルティーを課すと決めることができる。

### ダメージ・デポジットからの控除

ダメージ・レベルの査定の目的は、ポイント・ペナルティーのためだけのものであり、ダメージ・デポジットからの控除と結びつくものではない。

いかなるポイントペナルティーも水上で行われるダメージ・レベルの査定に基づくものとする。その後に行われる損傷レベルのより詳しい査定によって、レベルが上がったり下がったりしたとしても、水上で課されたポイントペナルティーに影響を及ぼすものではない。

## SI アペンディックス F

### SI 10.3 コースの制限

ローイング中であるとアンカリング中であるにかかわらず、レースエリア内にいるローボート(シーカヤックを除く)から半径 10m の範囲内は障害物とみなす。レース中、艇はこの範囲内を帆走してはならない。

